

# 新しい時代 新文化運動と哲学

## 中性子の中で神の光が発散する

### 四、人類救援と生命の光

この世の万物はすべて神である

物質の根元は如何に生じたか？粒子であるか、さもなければエネルギーか？

このような問いかけは、人間が物理学や化学を通じて到達せんとする最終的な研究課題であろう。前にも言った通り、陰(－)と、陽(＋)の二元的な品性は魔鬼的な品性で、神の品性は陰・陽がない中性子的な心性を持っていると言ったのである。

慾心や、血気、感情、羨み、不満などは全てが陰・陽に属する品性である。

神明の中性的な品性は彼と我を感じない、完全に一つに感ずる心であるから相手方と比較する考えすら起きない、一元体制の心が即ち、聖なる神の品性である。

これと同様に、原子一つ一つの中にもまたプラスとマイナスの電気を帯びているのもあれば、中性子のように何の品性も帯びていないものがある。原子が或る制限された領域の中でしか動くことができないのは、それ自体が持っている陰・陽の品性があるからである。反面、中性子はなんら陰・陽の品性を帯びていないのだ。即ち、その中性子から神の生命の光が注がれるのである。

これは大変な発見である。だが、現代の科学がここまで到達していないのである。

聖なる無極中性の神の光は遙かに強い透過力で、皆さんの骨節の中にまで深く浸透して悪霊 魔鬼の品性を粉碎しているのだ。勝利者からは中性子の光が注いでいるのである。この世の万物は全て神である。万物は単純な

物質ではなく神であり、神でない万物は一つもないのである。結局、この世の万物は全て神は神でも、魔鬼神に閉じ込められた神であるので、万物は聖なる天の神と生命を殺す魔鬼の神が共存している共存体であるのだ。

従って、この世の万物は全て神の支配を受けているのだ。生命の神が入れば万物が生き、死亡の神が入れば万物は死ぬのだ。だから、人間の考え方の次第で万物は影響を受けており、万物自体が死んだり生きたりするのである。昔から、人間が住んでいる家は傾いた荒家でも崩れないと言われている。それは人間から出る生命物質が傾いている家屋を支えているからである。だが、その家から人がいなくなれば数ヶ月も経たぬうちに崩れ落ちてしまうのである。

この世は考え(想念)が支配する世界である。だから、人間が悪い考えをもてば、その考えによる物質が必ず万物に悪い影響を及ぼすのである。

反面、皆さんがコップの中の水面に勝利者の顔を描けば、その水に変化を起こすのである。水自体が生命力をもつ生命水に変化するのである。この水を毎日呑んでいれば血が変わる。生命水で血が変わり、生命水で世のあらゆる病魔が治癒されるのである。

世の中では“エイズ”が怖い病気だとしている。一度感染したら生きる道のない病気だといわれる。だが、そのエイズも問題なく治すのがこの勝利者から出る甘露の生命水の能力である。これからさき遠からず、全世界がその方、勝利者の能力を見ることができると時代が来るだろう。

### 4、太陽より速い光

相対性理論を発表した“アインシュタイン”は、世の中で最も早いのが光だと言った。そして、もし光よりも速い物質があるとすれば、世の中に存在する過去、現在、未来の時間概念は崩れるだろうとも言った。

果たして、光より速い物質は存在するのか？

いま先端科学を研究する科学者たちは、これに対し大きな関心を持って研究はしているが、未だに新しいものを見出せずにいる。それは、光より速いものを測定する方法がないからである。

ところが、この「勝利祭壇」では、既に1981年から「勝利者」「曹熙星」さまの御言葉を通じ、この世界に先駆けて超科学的な知識を聞くようになったのである。このような神秘的な知識が科学者たちによって少しずつ立証され始めたのは、ごく最近のことである。

**天声神語**：人間の窮極的な本郷はどこなのか？

世の中で偉いといわれる聖人聖者たちがこの世に来ては、多くの名言を残していったが、われわれ人間本然の姿、人間の本郷を正しく言ってくれた者はいない。

人間の本郷、神の体は歩きまわる身ではなく、時間と空間の制約を受けない身である。遠からず神の世界が成就すれば、人間の身体が変化し自由自在

の神の体で、宇宙を飛びまわるようになっていだろう。

これからは住みよい世の中になるのだと多くの人が唱えているが、いまに口だけでなく実際に、神が親しく自ら治める‘親政時代’が目前に迫っているのである。

**神の身は光の体である。**

その光はいま見ている太陽より億千万倍も速く、億千万倍も明るい光である。

最近、科学界でも中性子の神秘が解ければ宇宙の神秘も解明できると、言っている。だが、かれらは中性子の神秘の中には、神の光が存在しているという事実を知らないのである。

勝利者は1981年前から万物は神であり、神でない万物はあり得ないということをやっている。この世の万物から生命の物質と死の物質が放射されているという事実も言ってきた。だが、科学界では未だに暗中で研究し試験を重ねて、一つ一つ試しているのである。

アインシュタインは、光の速度があらゆる物質の中で最も速いと言ったし、もし、光よりも速い物質があるとすれば、時間と空間を超越することができると言った。では、果たして光より速い物質があるだろうか？

勝利者は、太陽よりも億千万倍も速い光があるということをやってきた。とてつもなく速い光が中性子から注がれるが、この中性子の光が、まさに

万一、勝利者が言っている通りにならず、万に一つでも間違った点があったなら、勝利者に従ってくるものはいない筈である。

皆さんが毎日、このように千余名が参集してくるのも。この勝利者の話が新しく、しかも確実であり、その証拠が皆さんの身体を通して現れており、心を通して変化がおきているからである。永生するように、その身体が変わっているのである。

ところが、近視眼的な無知な悪霊の心霊は、自分が自分を欺瞞し、サタンがサタンを欺瞞しながら、自分、自らが騙し騙されながら生きているから、この勝利者もまた、そのような生き方をしているものと思って、よく調べもしないで、この真理を嘲笑する者たちがいるのである。

しかし、時の流れにより、どれが嘘で、どれが真実かが判明するようになるから、余りにも感嘆し、余りにも嬉しくて、眠らずに喜び、毎日が驚くべき体験の中で生きようになるので、自ら心の中から性格の変化が起きて、血気が起きようにも起きず、怒りも起きようにも起きず、兄弟の事情が、即、私の事情であり、兄弟が私であり、私が兄弟であるから、ことさら「私」を意識しようにも意識できない、驚くべき境地在自分の中に芽生えてくるとき、はじめて喜びと感謝の涙を流しながら、どういう真理かを悟るようになるのである。—1986年7月20日の講演から—\*

次の号に引き続き掲載

Subaru Kan / 新人類文化研究所長

## 모든 도와 종교가 십승 정도령으로 통합되리라

격양유록 新 해설  
수정판 제 14회

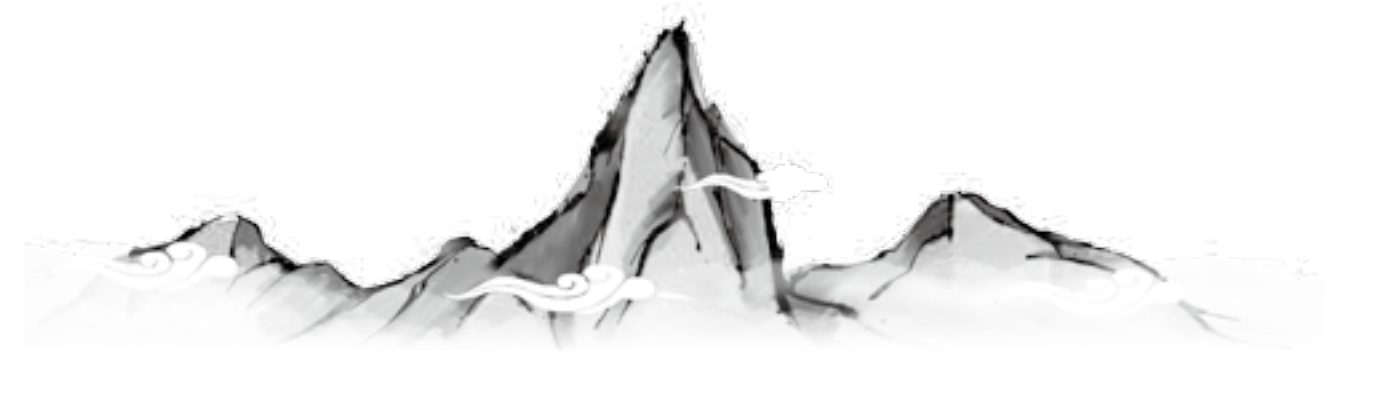
### 未運論(말운론)

仁富之間 夜泊千艘 仁부지간 야박천소  
和氣東風萬邦和 화기동풍만방화  
百祖十孫壬三運 백조십손삼운  
山崩海枯金石出 산붕해고금석출  
列邦隣蝶見光來 열방호접견광래  
天下萬邦日射時 천하만방일사시  
天地反覆此時代 천지반복차시대  
天降在人此時代 천강재인차시대  
豈何不知三人日 기하부지삼인일  
東西合運枝葉道 동서합운지엽도  
此運得受女子人 차운득수여자인

인천 부령 부천지역에 밤에 천적의 배가 정박하며(은금보화를 싣고 정도령을 보러온 배) 정도령의 화기로온 봄바람이 세계만방을 하나로 화합하게 하니 백 명의 조상 가운데 열 명의 자손이 살게 되는 입삼(삼인)의 운이 되리라.

산이 무너지고 바다가 마르더라도 진인 정도령은 소사에서 나오시니 세계만방에서 나비가 빛을 보고 날아오듯이 몰려오리라. 금석(金石)은 백색이며 백석은 소사이다(금=金=백石=素素).

진리의 태양이 천하 만방에 다 비치어 천지가 뒤집어지는 즉 천지가 개벽하는 시대에는 천신이 하강하셔서 사람 속에 거하시게 되는 시대이니 어찌하여 삼인일(三人日=春분)을 알지 못하는가?



동서가 합하니 금목이 합하고 모든 도와 교가 합하여 하나가 되느니라. 목운(女)과 금운(子)이 합해진 6도 81궁 정도령(妃)이 이 운수를 받아 죽음 없는 세상을 만들기 위해 천지공사를 하느니라.

一祖十孫人人活 일조십손인인활  
道道敎敎合十勝 도도교교합십승  
列邦各國指導人 열방각국지도인  
三公大夫指指揮世 삼공대부지휘세  
上中之下異運時 상중지하이운시  
一道合而人人合 일도합이인인합  
德心生合無道滅 덕심생합무도멸

한 할아버지가 10명의 자손이 나오듯이 사람 사람들이 살게 되며 모든 도와 종교가 십승으로 통합되리라. 세계 각국의 지도자와 고관대작을 가르치며 세상을 지휘

하게 되리라.

상 중 하로 각기 다른 운이 오테라도 하나의 도로 통합하면 사람사람이 마음을 합치리라. 사람을 살리고자 하는 여진 마음으로 하나가 되면 영생하리니 이러한 도가 없으면 멸망하리라.

入生出死弓乙天 입생출사궁을천  
天定人心還定歌 천정인심환정가  
魑魅發不奪人心 리매발불탈인심  
信天人獲罪於天 신천인획죄어천  
無所禱 空虛事無人間 무소도 공허사무인간  
夜鬼發動不入勝 야귀발동불입승  
天生天殺道道理 천생천살도도리  
化於千萬理有海印 화어천만리유해인  
一人擇之化 일인택지화

敏過自責 吸海印 민과자책 흡해인  
無不通知天意理 무불통지천의리  
奚如天遠反倍 해어천원반치

들어가면 살고(영생) 나오면 죽는 공을 촌(=신천촌)에서는 하나님이 택한 사람들이 기쁨의 노래를 부르니 귀신과 도깨비가 날뛰어도 그들의 마음을 빼앗지는 못하리라.

그러나 하나님을 믿는 사람이 하늘에 죄를 지으면 기도할 데가 없으며 공허하고 무용지물과 같은 인간이 될 뿐이니 마음속에 야귀(夜鬼)가 발동하여 십승에는 들어가지 못하리라. 하늘이 살리고 하늘이 죽이는 도의 이치는 천변만화하는 조화의 권능을 가진 해인에서 나오느니라.

한 분 정도령(6도 81궁)을 택하여 무궁 조화의 권능을 나타내시니 허물이 있으면 재빨리 자신의 탓이라 여겨야 해인을 받게 되느니라. 무불통지(無不通知) 즉 모르는 것이 없는 것이 하늘의 이치라 만 하늘에서 하나님이 낫고 천한 땅으로 오신 까닭이나라.

古人鄭氏 牛性夭死 고인정씨 우성오사  
人作孽自取禍 인작업자취화  
無可歎奈何 무가탄내하  
且易曰先天不達 차역왈선천불위  
後天壽時牛性 후천봉시우성  
農夫石井崑 농부석정곤  
我邦之人 君知否 아방지인 군지부

옛사람으로 정도령 또는 우성인이라고

칭하던 자들은 다 요절하여 죽었느니라. 그들은 사람들이 지어낸 의붓자식 같아서 스스로 화를 자초하였던바 탄환할 수도 없으니 어찌 하리오?

역(易)에 이르기를 선천이 하늘의 뜻을 거스르지 않고 후천이 하늘의 뜻을 받들 때 우성인 농부(정도령)가 나오나니 이른바 곤륜산의 석정인데 즉 천정수로 농사 짓는 영적 농부인 진짜 정도령 우성인이 나오리라.

우리나라 사람들이여 그대들 진정코 알겠는가?\*

박영하 / 고서연구가

myunghpark23@naver.com 010-3912-5953

## 당신을 영생의 세계로 안내하는 신문

성금계좌 : 우체국 103747-02-134421 예금주 : 이승우

**승리신문은 독자님들의 정성어린 성금으로 만들어집니다**  
**전국 각지에서 성금을 보내주시는 분께 감사드립니다**

<b>승리신문</b>	1990.3.3 등록번호 다 - 0029
발행인 겸 편집인 김중만	
본지는 구세주(정도령, 미륵불)께서 말씀하신 사람됨이 실제를 죽지않는 원리(영생학)를 누구든지 쉽게 배우고 실천할 수 있도록 소개하여 질병과 죽음이 없는 개벽된 세상을 만들고 진정한 평화의 세계를 구현하는데 기여함을 목적으로 발행됩니다.	
경기도 부천시 소사구 안곡로 205번길 37 우 14679 홈페이지 <a href="http://www.victor.or.kr">www.victor.or.kr</a>	<b>광고 및 구독신청</b> 전화 032) 343-9985 FAX 032) 349-0202
본지는 신문윤리강령 및 그 실천요강을 준수합니다.	